

(第 1 号議案)

令和元年度事業報告及び令和元年度収支決算報告

令和元年度監査報告

令和元年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 はじめに

当協会は、平成元年4月に社団法人として発足し、平成23年6月からは公益法人制度改革による公益社団法人として産業廃棄物の適正処理及び資源化の推進に関する諸事業を通し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るとともに資源循環を推進し、県民福祉の向上及び循環型社会づくりの促進に寄与している。

また、昨年6月に設立30周年記念事業を実施するとともに、これまでの30年の取組を記念誌としてとりまとめた。

2 産業廃棄物処理業の状況

全国の平成29年度の産業廃棄物総排出量は約3億8,354万トンで、前年度に比べ約349万トン(約0.9%)減少し漸減傾向が続いている。

公益社団法人全国産業資源循環連合会(全産連)が実施している「産業廃棄物処理業景況動向調査」では、2019年7-9月期の景況判断が3期ぶりに改善に転じ、次の10-12月期も改善となり2期連続で改善されたが、今後の見通しは悪化する見込みとされている。また、経営上の問題点をみると、「従業員の不足」が10期連続で1位となっており、深刻な人手不足が続いている。

3 行政の取組み

国においては、産業廃棄物の適正処理と循環型社会の構築を図るため、「第4次循環型社会形成推進基本計画」及び「プラスチック資源循環戦略」(昨年5月策定)を踏まえ、プラスチックの資源循環の促進に取り組むとともに、優良産業廃棄物処理業者認定制度の運用改善、認定要件及び優遇措置の見直しに取り組むほか、「外国人技能実習制度導入に係る検討業務」を実施するなど、優良な循環産業の育成や産業廃棄物処理業の振興に向けて取り組んでいる。

神奈川県においては、「神奈川県循環型社会づくり計画」に基づき「資源循環の推進」「適正処理の推進」「災害廃棄物対策」を施策の柱として循環型社会形成への取組を進めている。

また、「かながわプラごみゼロ宣言」を具体的に推進するため、「かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム」を3月に策定するとともに、当協会も構成員となった「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」を発足し、プラごみゼロに向けた取組を進めている。

4 協会の取組み

こうした中、当協会は、業界を取り巻く社会環境等を踏まえ、循環型社会づくりにおける重要な役割と地位を担い、適正処理と資源循環の更なる推進に向け、コンプライアンスの向上・徹底、人材育成の推進、労働災害の防止、地球温暖化対策、災害廃棄物処理の対応などに関する事業を行政や関係団体と連携、協力して、次のとおり実施した。

特に元年度は、協会設立以来初めてとなる協定に基づく市からの要請による災害廃棄物処理支援活動を行った。

公益目的事業

1 産業廃棄物の適正処理のための法的事項、安全衛生等の普及啓発及び情報提供等による普及啓発

(1) 法定事項の遵守、コンプライアンス等の向上及び不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発並びに調査研究に基づく普及啓発

ア 法定事項の遵守、コンプライアンスの向上の普及啓発

(ア) マニフェスト等の普及啓発事業

産業廃棄物の処理に係る法定事項である委託契約書、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿を遵守・徹底し、適正処理のコンプライアンスを向上・徹底するため、委託契約書、マニフェスト等を頒布し(631,500 セット)、排出事業者等に対してはセミナー等にて電子マニフェストへの加入を促進しました。

(イ) 産業廃棄物処理業者基本台帳整備・許可期限通知事業

産業廃棄物処理業の更新時の混乱による無許可営業を防止するため、更新期限の通知を行いました。(年2回実施)

通知文発送日	許可期限日範囲	発送件数
R1. 8. 23	R1. 11. 1～R2. 5. 31	75 社
R2. 3. 25	R2. 6. 1～R3. 3. 31	136 社

(ウ) 許可講習会等の実施協力事業

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請者、処理業務従事者、実務者に対する講習会等の実施に協力し、法定の資格遵守を普及啓発しました。

講習会名・講習内容		開催日	受講者	会場
新規 許可講習会	収集・運搬課程	R1. 6. 27～28	162 名	かながわ労働プラザ(横浜市)
		R1. 8. 29～30	166 名	
		R2. 2. 26～27	149 名	
特別管理産業廃棄物収集運搬課程	処分課程(収集・運搬課程と合同)	R1. 5. 21～24	処分課程 161 名 収集運搬 109 名	
		R1. 12. 18～20	55 名	
更新 許可講習会	収集・運搬課程 (特別管理産業廃棄物収集運搬課程)	R1. 6. 26	165 名	
		R1. 7. 18	168 名	
R1. 9. 26		169 名		
R1. 10. 25		150 名		
R1. 12. 17		146 名		
R2. 3. 18	148 名			
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	処分課程(収集・運搬課程と合同)	R1. 11. 27～28	処分課程 123 名 収集運搬 78 名	
		R1. 6. 25	163 名	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会		R1. 7. 17	160 名	
		R1. 8. 28	164 名	
		R1. 9. 25	150 名	
		R1. 10. 24	161 名	
		R1. 11. 26	167 名	
		R2. 3. 17	中止	
		全産連 実務者研修	R1. 7. 19	124 名

(エ) 排出事業者・行政との懇談会等の事業

事業者と行政及び処理業界との懇談会・懇話会の開催

会 議 名	開催日	場 所	出席者数
神奈川県労働局との情報交換会 産業廃棄物業界の労働災害防止 について (安全衛生協議会)	R2. 3. 11	シルクセンター大会議室	25 名
湘南・県西地区委員会と行政との 勉強会	R1. 11. 6	小田原箱根商工会議所	21 名
廃棄物対策協議会との懇話会 (湘南・県西地区委員会)	R2. 2. 14	平塚商工会議所	59 名
県央地区行政との勉強会	R1. 7. 9	厚木アーバンホテル	17 名

イ 不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発

産業廃棄物の不法投棄・不適正処理の発生を未然に防ぐため、神奈川県、市町村等が行う廃棄物不法投棄防止・撲滅キャンペーン事業や不法投棄物の撤去作業に参加して、不法投棄・不適正処理の防止を普及啓発するとともに、会員の優良事業所や優良従業員を表彰し、コンプライアンスの向上を推進しました。

(ア) 不法投棄防止等キャンペーンによる普及啓発

委員会名	実施日	地 域	実施場所	主催・実施主体	事業内容	
県央地区 委員会	R1. 9. 1	座間市	座架依橋	県央地域廃棄物 対策推進協議会	座架依橋付近の相模川河川 敷清掃活動 全体 34 団体 1,617 名 (10 社)	
	R1. 10. 6	相模原市	相模湖ふれ あい広場	津久井地域不法 投棄防止協議会	津久井地域不法投棄撲滅キ ャンペーン全体 19 名 (13 団 体)	
	R1. 11. 1	大和市		県央地域廃棄物 対策推進協議会	県央地域不法投棄防 止合同パトロール	7 社
	R1. 11. 11	愛川町		県央地域廃棄物 対策推進協議会	県央地域不法投棄防 止合同パトロール	
	R1. 11. 13	清川村		県央地域廃棄物 対策推進協議会	県央地域不法投棄防 止合同パトロール	
R1. 11. 15	綾瀬市		県央地域廃棄物 対策推進協議会	県央地域不法投棄防 止合同パトロール		
湘南・県 西地区委 員会	R1. 5. 26	藤沢市内	湘南海岸	藤沢市・かながわ 海岸美化財団	第 43 回ゴミゼロクリーンキ ャンペーン 全体 4,778 名 (9 名) 可燃 620kg、不燃 420kg	
	R1. 5. 30	箱根町、南足柄市、山北 町、湯河原町		山梨県・静岡県・ 神奈川県合同富 士箱根伊豆地域 不法投棄防止連 絡協議会	不法投棄防止一斉パトロー ル 全体 21 名 (7 名) 発見件数 26 件 投棄量 31.9 m ³	
	R1. 7. 6	平塚市内	七夕祭り会 場	クリーンボラン ティア実行委員 会	クリーンボランティア参加 エリアを巡回して落ちてい るゴミの回収 (8 名参加)	

R1. 8. 8	秦野市内	震生湖周辺及び蛇塚踏切周辺	秦野地区不法投棄防止キャンペーン事業実行委員会	全体 17 名 (1 名) 可燃ごみ 50 Kg 不燃ごみ 40 Kg
R1. 11. 1	秦野市内	西大竹東名高速道路側道周辺及びトンネル	秦野地区不法投棄防止キャンペーン事業実行委員会	全体 34 名 (2 名) 可燃ごみ 230 kg 不燃ごみ 50 kg
R2. 2. 20	秦野市内	森戸地区	秦野地区不法投棄防止キャンペーン事業実行委員会	全体 26 名 (2 名) 可燃ごみ 150 kg 不燃ごみ 270 kg

(イ) 適正処理顕彰事業

a 協会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	7 名	R1. 6. 12
優良事業所表彰	14 社	令和元年度定時社員総会
優良従業員表彰	62 名	横浜ベイホテル東急

b 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	1 名	R1. 6. 13 第 9 回定時総会・令和元年度全産連会長表彰式 明治記念館
地方功労者表彰	7 名	
優良事業所表彰	1 名	
地方優良事業所表彰	8 社	
優良従事者表彰	9 名	

c 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
産業廃棄物関係事業功労者表彰	2 名	R1. 11. 15 第 18 回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」〈兵庫県〉

d 神奈川県環境整備功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境整備功労者表彰	4 名	R1. 11. 19 神奈川県庁

e 神奈川県環境保全功労者表彰(環境農政局長表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境保全功労者表彰	9 名	R1. 7. 17 開港記念会館

ウ 調査研究に基づく普及啓発

産業廃棄物の適正処理における課題に関する調査研究を行い、制度改善等が望まれる事項について、関係機関等に提言を行いました。

(ア) 令和 2 年度予算及び施策に関する提言

提 言 先	提 言 日
自由民主党 (神奈川県支部連合会)	R1. 6. 25

神奈川県知事、横浜市長	R1. 10. 9
川崎市市長	R1. 10. 24
相模原市長	R1. 11. 1
横須賀市長	R1. 10. 25

(イ) 令和元年台風 15 号による被害への支援要望

要 望 先	要 望 日
横浜市長	R1. 10. 9

(ウ) 新型コロナウイルス感染性廃棄物への対応について

要 望 先	要 望 日
神奈川県環境農政局長	R2. 2. 17

(2) 資料・情報の収集・提供、広報による普及啓発

産業廃棄物の処理及び資源循環に関する情報を収集・提供し、産業廃棄物の適正処理・資源化について普及啓発しました。

ア 法令・行政情報等の収集・提供

法令、行政情報、会員情報、災害廃棄物情報等を収集し、情報提供等の基礎資料とするとともに、関連する資料を提供しました。

(ア) 情報収集及び提供事業

行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報を、随時会員に通知するとともに、事務局内に配架等しました。

- ・会員への行政情報やセミナー案内等の提供：月 2 回程度送付（随時）

イ ネット媒体を利用した情報提供

協会のホームページを見やすく使いやすくするため、主要行事や協会事業の一覧表の掲示、行政や関係団体からの情報提供に努めるとともに、安全衛生大会や定時社員総会の速報、青年部会ボランティア事業、各種講習会予定等を掲載しました。

また、情報発信の更なる改善を図るため、情報活用部会において検討を行うとともに、フェイスブックやメールマガジンによる情報配信も行いました。

- ・ホームページの運営：月 2 回更新（上旬、下旬）
- ・メールマガジンの配信：月 2 回配信（上旬、下旬）
- ・フェイスブックへ委員会開催情報等掲載：随時更新

ウ 機関誌による情報提供・広報

機関誌「さーきゅれーしょん」に、産業廃棄物及び資源循環に係る行政情報をはじめ、法令情報、技術情報、労働災害防止のための安全衛生情報、各行事の実施結果、会員に関する情報などを掲載して発行・配布し、処理業者、排出事業者、行政、県民に適正処理や資源循環の推進に関する協会事業や行政情報、関連情報を広報しました。

(ア) 機関誌「さーきゅれーしょん」発行事業

- ・機関誌「さーきゅれーしょん」年 4 回作成し、会員・関係機関等に配布及び有償頒布

号 数	発行日	特 集	発行部数
第 9 号	H31. 4. 25	特集 1 「神奈川県不法投棄の情報提供に関する協定」 の内容変更について 特集 2 「かながわプラごみゼロ宣言」の推進に向けた取組について	830 部

		特集3 平成30年度産業廃棄物処理施設技術管理者等講習会	
第10号	R1. 7.25	特集1 令和元年度定時社員総会 特集2 設立30周年記念式典・祝賀会	800部
第11号	R1. 10.25	特集1 第10回安全衛生大会 特集2 時間外労働の上限規制・年次有給休暇の時季指定義務	800部
第12号	R2. 1.24	特集 車両担当者ドライバーズ講習会	810部

(3) 安全衛生の向上・徹底の普及啓発

適正処理推進の基盤である労働者の安全・安心と経営の安定化に向けて処理業の安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

ア 安全衛生パトロールや安全診断等による普及啓発

職場の安全衛生パトロールを行い、職場の状況・実態に応じた安全衛生方策を協議して課題を解決するなど、処理業者の職場改善を行いました。また、労働安全衛生の専門家が同行して内容を深めるとともに、現地で参加者を対象に労働安全衛生ミニセミナーを開催しました。

安全衛生パトロール実施状況

種 別	実施日	対 象
安全衛生パトロール	H31. 4.26	県央地区委員会主催 地区内事業所
	R1. 9.19	湘南県西地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)
	R1. 10.16	横須賀地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働衛生ミニセミナー開催)
	R2. 2.13	横浜地区委員会主催 地区内事業所

イ 安全衛生の情報収集・提供

職場の労働災害防止や安全衛生の向上を図るため、安全衛生大会等を開催し、労働災害の発生実態や原因、具体的な対策について普及啓発を行いました。

実施日	参加人数	場 所	内容・実施
R1. 7.23	85名	横浜情報文化センター 情文ホール (横浜市)	安全衛生大会 ・労働安全衛生標語の優秀作品表彰式 ・講演：(1)産業廃棄物処理業における安全衛生管理の進め方、(2)墜落災害の防止対策強化、(3)保護具の正しい選び方使い方 ・労働安全活動事例紹介：(1)J & T環境㈱、(2)日栄工業㈱
R2. 2.17	55名	波止場会館	フルハーネス型墜落防止用器具使用作業特別教育講習会

ウ 安全衛生事例等による普及啓発

会員企業の労働災害やヒヤリ・ハット事例の調査を行い、改善策の実施効果等を取りまとめるとともに、日常的な安全衛生活動の実施状況や各社が力を入れている取組内容等を収集し、機関誌「さーきゅれーしょん」に掲載するほか、各社の現場管理方法や作業方法等の見直しや改善など労働安全衛生活動の推進を図りました。

エ 安全衛生優良事業所等の顕彰による普及啓発

安全衛生優良事業所とその担当役員・従業員の顕彰を行い、安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

令和元年度安全衛生協議会表彰

区 分	表彰対象	表彰時期
安全衛生活動表彰 5年表彰	2社	R1. 6.12 令和元年度定時社員総会
安全衛生活動表彰 年度表彰	16社	
安全衛生活動優良役員・従業員表彰	11名	

(4) 全産連等との連携による適正処理の普及啓発

都道府県域を超えて処理される産業廃棄物の適正処理を推進するため、全国の処理業者や関係団体と連携・協力して適正処理を普及啓発しました。

ア 全産連等との連携による適正処理の推進

公益社団法人全国産業資源循環連合会の役員・委員として運営や諸事業に参画し、国等からの指導・助言を受け、情報を収集し、共通課題を協議・調査研究し、課題解決を進めて、適正処理を普及啓発しました。特に、当協会役員が法制度対策委員会、安全衛生委員会、収集運搬部会、医療廃棄物部会に委員として参加し、各事業を推進して適正処理を普及啓発しました。

(ア) 全産連連携普及啓発事業

公益社団法人全国産業資源循環連合会の会議に次のとおり参加等しました。

a 総会

開催日	会 場
R1. 6.13(第9回定時)	明治記念館 (東京都港区)

b 理事会

開催日	会 場
R1. 5.28(第44回)	公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)
R1. 7. 9(第45回)	公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)
R1.10. 8(第46回)	公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)
R2. 1.16(第47回)	明治記念館 (東京都港区)
R2. 3.10(第48回)	公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)

c 正会員会長会議

開催日	会 場
R2. 2.21	ホテル福島グリーンパレス (福島市)

d 正会員事務局責任者会議

開催日	会 場
R1. 7.26	アジュール竹芝 (東京都港区)
R2. 1.31	

e 委員会・部会・連絡会

開催日	名 称・会 場
R2. 2. 5	法制度対策委員会 (全産連) 公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)
R1. 6.11 R1.12.18 R2. 2.20	安全衛生委員会(全産連) 公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)
R2. 3.11	医療廃棄物部会(全産連) 公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)
R1.10. 9	建設汚泥分科会(全産連) 公益社団法人全国産業資源循環連合会 (東京都港区)

f 関東地域協議会会長会議及び協議会等

開催日	内 容 (会場)
H31. 4. 19	第 62 回会長会議・協議会 (ホテルグランドパレス(東京都千代田区))
R1. 11. 22	第 63 回会長会議・協議会 (ホテル テラス ザガーデン水戸 (茨城県))

g 青年部協議会

開催日	内 容 (会場)
R1. 6. 12	総会 (明治記念館(東京都港区))
R1. 7. 19	第 11 回全国大会〔志国(四国)大会〕(サンポート高松(香川県))
R1. 11. 14	第 10 回カンファレンス(A N Aクラウンプラザホテル神戸(兵庫県))
R1. 5. 31	関東ブロック協議会総会・交流会(ベルヴィ大宮サンパレス(埼玉県))
R2. 2. 28	関東ブロック協議会賀詞交歓会(神奈川県) 〔新型コロナウイルス感染防止のため中止〕

イ 全国大会での適正処理の推進

公益社団法人全国産業資源循環連合会等が主催し、環境省等が後援する「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加し、全国の協会員等と共同して適正処理の普及啓発を行いました。

第 18 回産業廃棄物と環境を考える全国大会

開催日	会 場
R1. 11. 15	ホテルオークラ神戸(兵庫県)

ウ 関係団体との連携による適正処理の推進と社会貢献の取組

産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者等の関係団体の事業への参加や情報交換等を行い、連携して適正処理の推進と社会貢献に取り組みました。

(ア) 連携した関係団体

- ・公益社団法人神奈川県環境保全協議会
- ・一般社団法人東京都産業資源循環協会(一都三県建設混合廃棄物意見交換会、一都二県医療廃棄物合同懇談会)
- ・一般社団法人千葉県産業資源循環協会(一都三県建設混合廃棄物意見交換会)
- ・一般社団法人埼玉県環境産業振興協会(一都三県建設混合廃棄物意見交換会)
- ・公益社団法人静岡県産業廃棄物協会(一都二県医療廃棄物合同懇談会)
- ・公益財団法人かながわ海岸美化財団
- ・一般社団法人神奈川県建設業協会
- ・NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会
- ・神奈川県ホームレス協議会
- ・神奈川県医師会(水銀血圧計等回収事業)

(イ) 社会貢献の取組

- ・協会表彰及び安全衛生協議会表彰の副賞として海岸美化寄付付きクオカードを活用
- ・各地区委員会による不法投棄防止キャンペーン等へのボランティア参加(再)
- ・湘南県西地区委員会による七夕まつりクリーンボランティア参加(再)
- ・青年部会による「横浜開港祭」における廃棄物の分別指導及び回収
- ・ピンクシャツデー2020 in 神奈川「いじめストップ!ワールドアクション」への後援名義使用承認

(5) 体験学習会等による普及啓発

県民、児童、大学生等に環境を守ることの難しさや産業廃棄物の適正処理と処理業界への認識を深めてもらうため、会員企業において産業廃棄物の排出から処理までの過程を見学・体験を行いました。

- ・横須賀地区委員会：横須賀市商工会議所主催「マイタウンティーチャー」に参加し、中学生に産業廃棄物の適正処理等について普及啓発しました。

2 産業廃棄物の適正処理及び資源循環の推進に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 研修会、講習会等の開催

産業廃棄物処理業者及び排出事業者の適正処理及び資源循環の推進等に関する意識と資質の向上のため及び職場の安全衛生と産業廃棄物処理業界の安全衛生水準の向上のため、法令、知識、技術及び技能に関する研修会、講習会、セミナー及び視察見学会を開催しました。

ア 講習会等開催事業

(ア) 県受託産業廃棄物等講習会

開催日等	参加者数	場 所	講 習 内 容
R1. 10. 28	36名	かながわ労働プラザ	産業廃棄物処理施設技術管理者講習会
R1. 12. 3	58名	かながわ労働プラザ	産業廃棄物処理業者講習会
R2. 1. 27	69名	かながわ労働プラザ	食品リサイクル排出事業者セミナー

(イ) 研修委員会 電子マニフェスト操作講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
R1. 7. 10-11	34名	協会会議室	初級者向け電子マニフェスト入力方法 講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター職員
R1. 10. 17-18	32名	協会会議室	
R2. 2. 5	17名	協会会議室	
R2. 3. 5-6	中止	協会会議室	

(ウ) 研修委員会講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
R1. 10. 4	19名	波止場会館	働き方改革について ～大企業導入事例に学ぶ中小企業が準備すべきこと～
R2. 2. 17	55名	波止場会館	フルハーネス型墜落防止用器具使用作業特別教育講習会(再)

(エ) 医療廃棄物適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
R1. 10. 4	74名	情文ホール (横浜市内)	医療廃棄物の適正処理、違反事例、ほか(対象：医療従事者)
R2. 2. 14	43名	相模女子大 グリーンホール	医療廃棄物の適正処理、違反事例、ほか(対象：医療従事者)

(オ) 建設廃棄物の適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
R1. 11. 5	92名	情文ホール (横浜市内)	建設廃棄物の適正処理について

(カ) 車両管理者ドライバーズ講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
R1. 11. 18	30名	情文ホール (横浜市内)	・交通行動の心理学 ・NEXCO 中日本高速道路交通安全セミナー

(キ) 法令研修会

開催日	参加者数	場 所	研 修 内 容
R2. 2. 6	66名	かながわ労働プラザ	廃棄物処理法の基礎知識

イ 地区セミナー・視察見学会

(ア) 地区セミナーの開催

委員会等	開催日	参加者数	会 場	内 容
横 浜	R1. 9. 3	50 名	かながわ労働プラザ	・横浜市からの行政情報 ・産業廃棄物処理業者が知っておくべき消費税のこと ほか
川 崎	R1. 7. 25	41 名	川崎市産業振興会館	・逆有償をキーワードに廃棄物の該当性を考える ・働き方改革への質問や導入について
横須賀	R1. 11. 28	16 名	ヴェルクよこすか	働き方改革について
県 央	R1. 11. 28	41 名	厚木アーバンホテル	・安全衛生上の問題点と産業保健機能の強化 ・産業廃棄物処理業に求められる生産性向上について
湘南・県西	R1. 8. 9	20 名	平塚商工会議所	働き方改革について

(イ) 産業廃棄物処理施設等の施設見学会の開催

委員会等	開催日	参加者数	見 学 施 設
横浜地区委員会	R1. 10. 31	10 名	未病バレービオトピア
川崎地区委員会	R1. 11. 12	34 名	J&T 環境(株)、Jバイオフードリサイクル
横須賀地区委員会	R2. 2. 18	20 名	横須賀バイオマスエナジー(株)
県央地区委員会	R2. 2. 12	19 名	白井グループ(株)
研修委員会	R1. 11. 15	17 名	野村興産(株)関西工場
医療廃棄物部会	R1. 8. 30	12 名	アサヒビール神奈川工場
青年部会	R1. 11. 1	13 名	神奈川県総合防災センター

(2) 後継者、若手経営者等の養成

産業廃棄物処理業経営者の後継者を養成するため、青年部会の自主企画による産業廃棄物の適正処理のための公益活動を行いました。

・青年部会実施公益目的事業

開催日	参加者	場 所	活 動 内 容
R1. 6. 1-2	延べ 184 名	臨港パーク内 (横浜市内)	「横浜開港祭 2019」(75 万人参加)で発生した廃棄物の分別指導を通じ、廃棄物の適正処理の普及啓発。エコステーション 7 か所 回収量：紙ごみ 580kg、瓶・缶・PET1,440kg、事業系一般廃棄物 950kg、廃プラ 25 m ³ 、汚泥 1,080kg、pet キャンプ 16.9kg

(3) 県受託事業等の推進

循環型社会の形成及び環境保全を図るため、受託事業等推進委員会が県等と連携して産業廃棄物の適正処理の推進及び資源循環の推進に関する調査研究やセミナーの開催、普及啓発などを実施しました。

(ア) 食品廃棄物の削減に向けた普及啓発やセミナー開催等事業（県受託事業）

- ・リーフレット作成 1,000 部
- ・セミナー開催 R2. 1. 27 かながわ労働プラザ 69 名参加（再）

神奈川県が実施している食品リサイクルの取組についての報告
事業系食品廃棄物の効率的な運搬方法について
メタン発酵・バイオガス発電による食品リサイクル事業への取組について
食品廃棄物のリサイクル促進の取組について

(イ) 廃プラスチック類の資源循環の推進に係る調査等事業（県受託事業）

- ・廃プラスチック類の資源循環推進に向けた課題調査等実施

実施期間：R1. 11. 7～R2. 3. 16

調査対象事業者：20社（廃プラスチック類の処理業者、排出事業者、再生品利用者）

(ウ) 技術管理者及び処理業者等の資質向上を図るためのセミナー開催事業（県受託事業）

- ・産業廃棄物処理施設技術管理者講習会開催

開催日：R1. 10. 28 会場：かながわ労働プラザ 参加者：36名（再）

- ・産業廃棄物処理業者講習会開催

開催日：R1. 12. 3 会場：かながわ労働プラザ 参加者：58名（再）

3 産業廃棄物に関する相談対応、指導・助言及び処理業者の紹介

処理業者、排出事業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する相談や苦情申し出に対応して適切な処理を指導・助言するとともに、廃棄物の処理を必要とするときは専門の処理業者等を紹介しました。

4 災害廃棄物の処理の支援等

令和元年9月2日に三浦市と地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定を締結したことにより、県との基本協定のほか14市町（横浜市、川崎市、横須賀市、葉山町、相模原市、開成町、平塚市、小田原市、秦野市、箱根町、鎌倉市、藤沢市、大磯町、三浦市（協定の締結順））と締結済みとなりました。

市が実施する防災訓練電話応答訓練や災害廃棄物対策意見交換会へ参加しました。

また、協会初の協定に基づく協力要請を受け、対応地区委員会において現場確認や協力会員の調整等を行いました。

(ア) 協定に基づく災害廃棄物処理協力活動

- ・令和元年台風15号の被災対応

三浦市協力要請 R1. 9. 11 災害廃棄物仮置場内の分別管理、搬出積込み

R1. 9. 17 災害廃棄物の処理処分

横須賀地区委員会対応

協力活動期間 R1. 9. 13～9. 27（延15日間）、協力会員：7会員企業

横浜市協力要請 R1. 9. 13 災害廃棄物仮置場の管理運営、災害廃棄物の処理処分

横浜地区委員会対応

協力活動期間 R1. 9. 20～R2. 3. 31（延72日間）、協力会員：17会員企業

- ・令和元年台風19号の被災対応

三浦市協力要請 R1. 10. 16 災害廃棄物仮置場内の分別管理、搬出積込み

横須賀地区委員会対応

協力活動期間 R1. 10. 23～10. 31（延7日間）、協力会員：6会員企業

川崎市協力要請 R1. 10. 16 災害廃棄物仮保管場所運営管理、災害廃棄物の搬出・処分

川崎地区委員会対応

R1. 10. 24～12. 3（延39日間）、協力会員：1会員企業

5 専門委員会、地区委員会等の開催

公益目的事業等を円滑に推進するため、次のとおり各委員会・部会を開催しました。

[専門委員会、地区委員会等の開催状況]

委員会等名	開催日	委員会等名	開催日
企画・財政委員会	5回 R1.5.9、9.4、12.11、 R2.2.26、3.4	横浜地区委員会	5回 H31.4.15、R1.7.8、9.18、12.3、 R2.3.3
広報委員会	4回 R1.5.9、8.2、11.7 R2.2.6	川崎地区委員会	4回 H31.4.18、R1.7.25、10.15、 R2.2.13
研修委員会	7回 H31.4.9、R1.6.26、 7.19、9.4、10.4、12.4、 R2.2.17	横須賀地区委員会	5回 H31.4.24、R1.7.17、9.12、 10.16、11.28
福利厚生委員会 (表彰審査会)	3回 R1.6.19、11.29、 R2.2.19 (1回 R2.2.19)	県央地区委員会	5回 H31.4.26、R1.7.9、9.20、11.28 R2.2.12
建設廃棄物特別 委員会	1回 R1.8.9	湘南・県西地 区委員会	5回 H31.4.11、R1.6.20、8.9、11.6 R2.2.14
医療廃棄物部会	3回 H31.4.12、R1.6.5、 R2.3.9		
安全衛生協議会	2回 R1.5.8(書面)、 R2.3.11	情報活用部会	3回 R1.5.9、8.2、R2.2.6
法制度整備委員 会	3回 H31.4.16、R1.11.27 R2.1.28	収集運搬部会	2回 R1.7.2、9.25
受託事業等推進 委員会	4回 R1.6.17、7.24、9.20、 R2.2.21	青年部会	全体会 1回、定例会 5回、幹事会 12回
役員選考・推薦委 員会	1回 H31.4.8		

共益事業

1 会員及び会員の従業員の元気回復、懇親等の福利厚生に関する事業

会員及び会員の従業員の精神的安定、元気回復等のため、ゴルフコンペ等を行いました。

行 事 名	開催日	会 場	参加者数
第5回 RCK 会ゴルフコンペ	H31. 4. 24	磯子カンツリークラブ	22 名
設立 30 周年記念式典・祝賀会	R1. 6. 12	横浜ベイホテル東急	250 名
観劇会（宝塚歌劇）	R1. 7. 27	東京宝塚劇場	50 名
第3回 RCK 釣り大会	R1. 9. 7	みうら海王	18 名
第6回 RCK 会ゴルフコンペ	R1. 10. 25	台風影響により中止	—
賀詞交歓会	R2. 1. 15	ホテルメルパルク横浜	220 名

2 会員及び会員の従業員の県外施設見学会に関する事業

会員による先進・模範的な県外施設の視察研修会を行いました。

行 事 名	開催日	見 学 先	参加者数
県外施設見学会（再）	R1. 11. 15	野村興産(株)関西工場	17 名

3 会員に対する各種資料の配布や情報提供等に関する事業

行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報について、通知するとともに、ホームページへの掲載や事務局内に配架等しました。

- ・会員への行政情報等の提供：月 2 回程度送付（随時）
- ・ホームページへの掲載：月 2 回更新（上旬、下旬）
- ・フェイスブックへの掲載：随時
- ・メールマガジンによる情報配信
- ・会員専用サイトの運営
- ・許可更新期限の通知

管理事業

1 総会、理事会等の開催

協会運営の基本となる事項を協議・決定するため、定時社員総会、理事会、企画・財政委員会等を開催しました。

(1) 総会開催事業

ア 令和元年度定時社員総会

開催日	場 所	出席者	議 案 等
R1. 6. 12	横浜ベイホテル東急 (横浜市)	出席 87 社 委任状 200 社 書面議決 44 社 合計 331 社	【議事】 1 平成 30 年度事業報告及び平成 30 年度収支決算報告、平成 30 年度監査報告 2 定款の変更 3 任期満了に伴う役員の改選 【報告事項】 1 令和元年度事業計画及び令和元年度収支予算 【表彰】 1 協会表彰 2 安全衛生協議会表彰

(2) 理事会・常任理事会等開催事業

ア 理事会

開 催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
第 5 期 第 9 回 定時理事会	R1. 5. 15	シルクセンター 大会議室	理事 21 名 監事 1 名	【協議事項】 1 業務執行状況について 2 平成 30 年度事業報告・収支決算報告 ほか 【その他】 1 県・政令市からの情報提供
第 5 期 第 10 回 定時理事会	R1. 6. 12	横浜ベイホテル 東急	理事 26 名 監事 2 名	【協議事項】 1 業務執行状況について 2 総会・設立 30 周年記念式典等の進行 ほか
臨時理事会	R1. 6. 12	横浜ベイホテル 東急	理事 27 名 監事 2 名	【協議事項】 1 役員の互選 ほか
第 6 期 第 1 回 定時理事会	R1. 9. 11	シルクセンター 大会議室	理事 22 名 監事 2 名	【協議事項】 1 業務執行状況について ほか
第 6 期 第 2 回 定時理事会	R1. 12. 20	湘南国際村セン ター	理事 20 名 監事 1 名	【協議事項】 1 業務執行状況について 2 上半期予算の執行状況について ほか
第 6 期 第 3 回 定時理事会	R2. 3. 13	シルクセンター 大会議室	理事 19 名 監事 1 名	【協議事項】 1 業務執行状況について 2 令和 2 年度事業計画及び令和 2 年度収支予算 ほか

イ 正副会長会議

開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
R2. 3. 13	シルクセンター 会議室	6名	令和2年度事務局体制等について

ウ 県との資源循環推進懇話会・情報交換会

開催日	場 所	内 容	参加者
R1. 12. 20	湘南国際村センター	県からの情報提供 ・かながわプラごみゼロ宣言の取組状況 ・マイクロプラスチックの調査研究の進捗状況 ・かながわ環境整備センターの運営状況 ・気候変動と適応策 協会からの情報提供 ・令和元年台風 15・19 号による災害廃棄物への対応 ほか	県幹部等 6名 理 事 17名 監 事 1名 相談役 2名 地区委員 4名

2 組織の強化・拡大、加入促進

協会の組織強化・拡大のため、理事が中心となって業務上の関連がある未加入業者等に対し、協会への加入を促進しました。

(1) 会員入退会、名簿作成・修正事業

令和元年度の会員の異動状況は、次のとおりです。

区 分	会員数 (R2. 3 末現在)	会員数 (H31. 3 末現在)	異 動 状 況		会員数 (増 減)
			加入	退会	
正会員	480	484	5	9	480(-4)
賛助会員	56	55	5	4	56(+1)
合 計	536	539	10	13	536(-3)

(2) 会費収入管理事業

会員から納入された会費を管理しました。

3 事業報告等の提出及び公益法人変更登録等

令和元年度定時社員総会における平成 30 年度事業報告・収支決算報告、定款変更及び役員改選の決議を受け、横浜地方法務局において定款変更及び役員変更の登記、神奈川県へ事業報告及び変更届等の提出を行いました。

また、第 3 回理事会における令和 2 年度事業計画・収支予算及び資金調達等の決議を受け、神奈川県へ事業計画等を提出しました。

4 事務局の運営

その他協会運営に必要な事務局の運営などを行いました。

(1) 調査回答事業（協会の管理に係るものに限る。）

全産連や他団体等からの調査照会に回答しました。

(2) 全産連総会等参加事業

全産連通常総会や関東地域協議会等に参加しました。

(3) 事務局管理運営事業

その他協会運営に必要となる事務局の運営や理事会・各委員会の開催準備・記録作成、各委員会の行事の開催準備などを行いました。

5 30周年記念事業の実施

(1) 設立30周年記念式典・祝賀会の開催

開催日 R1.6.12 参加者 383名

会場 横浜ベイホテル東急

記念講演 講師 小泉進次郎衆議院議員

演題 「Change or Die」～改革を忘れた国に未来はない。～

祝賀会 ライブアトラクション 滝ともはる、TiA

(2) 設立30周年記念誌発行

設立30周年記念誌 廃棄物の受け手から資源やエネルギーの創り手へ
発行部数 1,000部

(以上)